

高齢者に肺炎球菌ワクチン接種の支援を



質問者
利根川 茂 議員

女性に対し、子宮頸がんワクチンの接種には、

昨年秋季より全額町負担で実施し、また、中学生までの医療費無料化は、10月より施行されます。

65歳以上の高齢者が「肺炎」で死亡するのは、毎年10万人を超えていると言われています。「がん」「心臓病」「脳血管疾患」に次いで4番目に多い病気です。肺炎球菌ワクチンは、1回の接種で5年間は有効とされています。

そのことにより、後期高齢者医療や国民健康保険、介護保険等の費用も削減が期待できると思います。

ます。

現在実施しているインフルエンザ接種と両方を受ければ、肺炎による死亡率が下がります。本町の高齢者が、元気で暮らしていくうえでも大変有効ですので、ぜひ、公費負担による実施を求めます。

そのことにより、後期高齢者医療や国民健康保険、介護保険等の費用も削減が期待できると思います。

そのことにより、後期高齢者医療や国民健康保険、介護保険等の費用も削減が期待できると思います。



A 前向きに
考えていく
回答（町長）



昨年の65歳以上のインフルエンザの接種者は、1518人であり同程度の人が接種すると、1500万円かかる。

肺炎球菌ワクチン接種は、法定接種ではないので、費用は全て本人負担である。また、接種後の副作用や対象年齢の設定など、様々な角度から十分に研究する。

本町では、定住化を促進するために各施策を展開し、町民が暮らしやすい町づくりを推進している。このワクチン接種も、高齢者のために良いことなので、国に対しても法定接種となるよう働きかけを行いながら、前向きに考えていく。

松田警察署建替に伴う代替地周辺の町道整備について



質問者
渋谷 昇 議員

① 警察署建替に伴う地権者の移転について松田警察署に隣接する地権者との交渉がまとまり、町が購入した旧営林署跡地に移転していただけると伺っております。地権者の移転に伴うスケジュールや地権者の土地と町有地との交換は、どのような状況になっていますか。

② 旧営林署跡地周辺の町道整備について地権者との交渉結果から、また周辺の土地利用が



幅員4mの町道を計画予定

A 隣接地権者と
話し合いを行う
回答（町長）



ら旧営林署跡地北側の狹隘道路を拡幅する予定であると伺っております。具体的にはどのような計画で、総事業費はどのくらいになりますか。

① 地権者と交渉した結果、今年の3月末日に住宅や倉庫などの移転補償契約を締結した。平成24年3月までに、土地交換のための契約を予定している。平成25年3月までは、全ての移転を完了したい。

② 道路拡幅して通り抜けできるように、幅4m・総延長160mの町道整備を計画している。総事業費については、詳細設計に入っていないため、今の段階では回答できない。これから、隣接地権者と話し合いを行っていくので、もう少し、時間をいただきたい。9月には、測量や設計委託について補正予算で計上を予定している。